

第1回 高校生SDGs選手権大会 ポスター発表 説明資料

学校名	福岡県立八幡南高等学校
チーム名 (メンバー名)	「シビック・プライド」 (林 夏帆、高尾 美聖、安部 結葉、吉岡 葉)
作品タイトル	「祭り与人々の関わり 黒崎祇園」
関係する SDGsのゴール	11「住み続けられるまちづくりを」
説明文	<p>「祭り与人々の関わりはこれからどうあるべきか」について探究しようと思った理由は、祭りは身近なところで行われているにもかかわらず、なぜ私たちを含めた高校生はあまり興味を持たないのかと疑問に思ったからです。また、興味・関心が薄れていくにつれて、祭りの存続が危ぶまれるのでは？ということも理由の1つです。</p> <p>「私たち高校生に何ができるのか」を具体的に考えるため、身近な例として黒崎祇園を調べました。</p> <p>インターネットだけでは得ることのできる情報が少なかったため、八幡西区役所を訪れ、区役所職員の中野さんを通して黒崎祇園の実行委員長である柴田さんに様々なお話を伺いました。具体的には、今の黒崎祇園の現状、高校生にどんなことができるか(下の課題参照)といった内容でした。柴田さんの意見を参考にしながら、「私たちに何ができるか」を考え直し、4つの取り組み(下の今後の展開参照)を考えました。この4つの取り組みを通して、地元の高中生だけでなく、様々な人が祭りに訪れるようにしていきたいです。</p>
課題、 今後の展開など	<p>○今の黒崎祇園の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者(見に来る人)、屋台の数が減少 <p>○私たちに何ができるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吹奏楽などステージ出演、屋台という形での参加 ・周りの人を誘い実際に訪れる <p>○4つの取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ポスター等を学校に貼る ②周りの友達、地域の人を誘う ③男子に向けて山笠を運ぶボランティアを募集する ④北九州国際交流協会に外国人留学生のボランティアを頼む
参考文献等	なし

(説明文は1ページ以内)